

持続的な拡大再生産の好循環に向けたさらなる「地産の強化」

| | | |
|---|-----------------------------|---|
| 1 | 人手不足問題にも対応した「地産の強化策」のさらなる強化 | 1 |
| 2 | 移住促進・人材確保のための新たな組織 | 2 |
| 3 | 高校生の県内就職支援対策 | 4 |
| 4 | 大学生の県内就職支援対策 | 5 |
| 5 | 第一次産業等の生産性向上プロジェクト | |
| | ＝ものづくりの地産地消・外商の取り組み | 6 |

人手不足問題にも対応した「地産の強化策」のさらなる強化

方向性

主な対策

人材面

移住施策を通じた
県外からの人材確保

【H31KPI】
・移住者数 1,000組 (H28 : 683組)

新卒者の県外流出の防止

【H31KPI (県内就職率)】
・高校生 75% (H29.3 : 61.5%)
・県内大学生等 42% (H29.3 : 35.8%)
・県出身県外大学生 30% (H29.3 : 16.4%)

潜在的な労働力の掘り起こし

人材の育成・定着

技術面

新技術の導入・設備投資の促進

戦略面

事業戦略の策定

□各分野の担い手確保策と連携した移住促進 (暮らし隊会員の登録、移住・交流コンシェルジュによる相談対応、移住体験ツアーの実施、住宅の確保 等)

- ◎ 首都圏高知 I T・コンテンツネットワークの構築 (H29当初)
- ◎ 県内の人材ニーズを踏まえた移住促進の取り組みの強化
 - ・人材ニーズの顕在化、職業情報データベースの構築 (H29当初)
 - ・移住促進・人材確保センター (H29.7設立) による「移住促進」「U・Iターン就職」「中核人材確保」の業務の一体的展開 (H29.6月補正)

- 企業や就職の情報発信、保護者への情報提供、就職協定締結大学の学生への情報提供
- 企業見学会・就職説明会の開催、インターンシップの推進
- 奨学金返還支援制度の活用

強化ポイント

- ◎ 大学生の県内就職支援対策 (県内企業が参加するセミナーの開催強化)
- ◎ 企業と高校生との交流会、若手社員による高校への出前講座

H29.9月補正

- ジョブカフェこうち、高知家の女性しごと応援室、福祉人材センター

- ◎ 農業労働力の確保のための仕組みの構築 (H29当初)

- 土佐まるごとビジネスアカデミーの開講 □アプリ開発人材の育成
- 高等技術学校、林業学校、農業担い手育成センター

強化ポイント

- ◎ 介護人材の離職防止・確保対策 (介護事業所認証評価事業)
- ◎ 新規高卒者の離職防止、従業員の定着対策 (H29当初)

H29.9月補正

- 次世代型こうち新施設園芸システム、高性能林業機械等の導入促進

- ◎ 第一次産業等の生産性向上プロジェクト (=ものづくりの地産地消・外商の取り組み) の加速

H29 強化

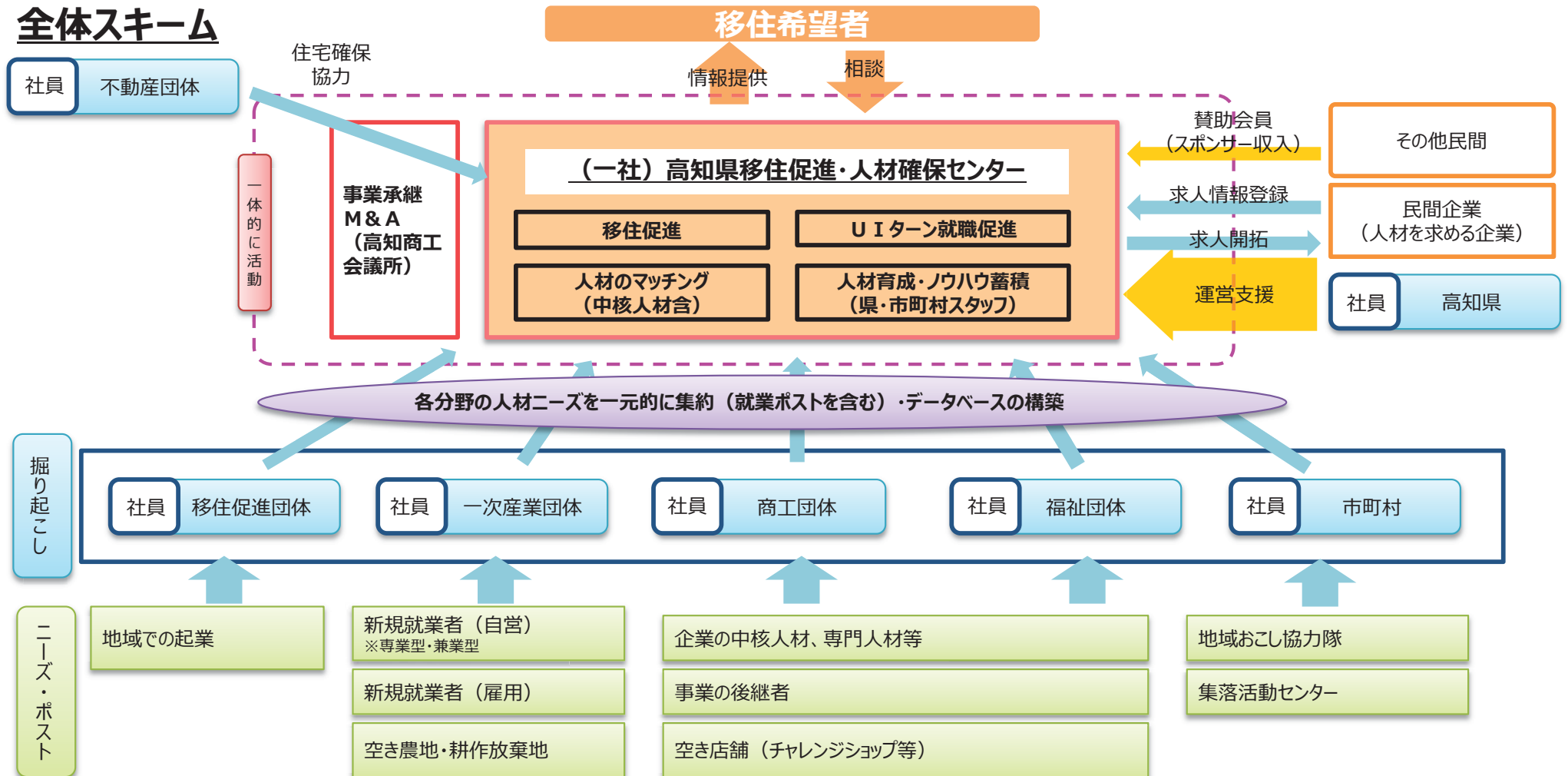
取り組むべき方向性等の明確化

- ◎ 事業戦略の策定・磨き上げ支援を各産業分野に拡大 (H29当初)

移住促進・人材確保のための新たな組織

| | | | | | | | |
|--|--|---|---|---|--|--|--|
| 目的 | ①県や市町村が「まち・ひと・しごと総合戦略」に掲げた人口ビジョンを達成していくため、これまで以上に移住促進や人材誘致に向けた施策を展開 ②移住や人材確保（マッチング）の促進に向けたノウハウの蓄積と専門スタッフの育成を行う | | | | | | |
| 業務 | <table border="0"> <tr> <td data-bbox="268 319 492 399"> 移住・就職相談 <ul style="list-style-type: none"> ● 移住相談の総合窓口業務（高知・東京） ● 県内へのUIターン就職の支援 </td> <td data-bbox="1030 319 1254 399"> 情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ● 移住や就職に関するHPの運営 ● 集約した人材情報の提供 </td> <td data-bbox="1590 319 1814 399"> 人材育成等 <ul style="list-style-type: none"> ● 市町村の移住相談員の人材育成 ● 民間の移住支援団体と連携した活動 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="268 414 492 526"> 人材マッチング <ul style="list-style-type: none"> ● 各産業分野と連携した人材ニーズの集約とマッチング ● 人材情報（求職）の収集 ● 事業引継支援センター（商工会議所）と連携した後継者人材の確保 </td> <td data-bbox="1030 414 1254 526"> イベント運営 <ul style="list-style-type: none"> ● 移住・就職イベントの実施 ● 移住体験ツアーの実施 </td> <td></td> </tr> </table> | 移住・就職相談 <ul style="list-style-type: none"> ● 移住相談の総合窓口業務（高知・東京） ● 県内へのUIターン就職の支援 | 情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ● 移住や就職に関するHPの運営 ● 集約した人材情報の提供 | 人材育成等 <ul style="list-style-type: none"> ● 市町村の移住相談員の人材育成 ● 民間の移住支援団体と連携した活動 | 人材マッチング <ul style="list-style-type: none"> ● 各産業分野と連携した人材ニーズの集約とマッチング ● 人材情報（求職）の収集 ● 事業引継支援センター（商工会議所）と連携した後継者人材の確保 | イベント運営 <ul style="list-style-type: none"> ● 移住・就職イベントの実施 ● 移住体験ツアーの実施 | |
| 移住・就職相談 <ul style="list-style-type: none"> ● 移住相談の総合窓口業務（高知・東京） ● 県内へのUIターン就職の支援 | 情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ● 移住や就職に関するHPの運営 ● 集約した人材情報の提供 | 人材育成等 <ul style="list-style-type: none"> ● 市町村の移住相談員の人材育成 ● 民間の移住支援団体と連携した活動 | | | | | |
| 人材マッチング <ul style="list-style-type: none"> ● 各産業分野と連携した人材ニーズの集約とマッチング ● 人材情報（求職）の収集 ● 事業引継支援センター（商工会議所）と連携した後継者人材の確保 | イベント運営 <ul style="list-style-type: none"> ● 移住・就職イベントの実施 ● 移住体験ツアーの実施 | | | | | | |

全体スキーム



各分野の人材ニーズの掘り起こしと発信

商工



- 掘り起こし団体
 - 県事業承継・人材確保センター、県地域本部、県産業振興センター、県内商工団体等
- どのように掘り起こすのか
 - 事業承継・人材確保センター職員の企業への直接訪問等による人材ニーズの掘り起こし
 - 地域本部、産業振興センター、商工会・商工会議所等による人材ニーズの収集
- H29活動実績
 - 事業承継・人材確保センター職員が県内企業を訪問し、潜在的な人材ニーズの掘り起こし（8月末：企業訪問のべ83社）
 - 事業承継・人材確保センターと産業振興センターが連携した事業戦略策定済企業の人材ニーズの掘り起こし（事業戦略策定企業（H28.4月からH29.8月の累計）：着手75社（うち完成47社）+着手予定35社）
 - 商工会や商工会議所の支援により事業者の経営計画を策定する中で、計画実現に必要な人材ニーズの収集（事業承継・人材確保センター職員が県内の商工会・商工会議所を訪問し、地域の人材ニーズの掘り起こしに向けた協力依頼（8月末訪問数）：のべ27団体）
 - （商工会・商工会議所による経営計画の策定支援件数（7月末）：261件）
 - 地域本部を通じた地域AP・第三セク等の人材ニーズの収集（8月末時点で把握した人材ニーズ：14件）

⇒ **高知求人ネットへの求人登録（8月末：有効求人件数315件602人、新規登録求人件数225件480人）**

農業



- 掘り起こし団体
 - 独立自営就農：農地・担い手対策課、各市町村担い手育成総合支援協議会（市町村、JA、農業振興センター等で構成）
 - 雇用就農：県農業会議
- どのように掘り起こすのか
 - 独立自営就農：各産地・地域で話し合い、産地提案書の拡大（随時）
 - 雇用就農：県内農業法人を訪問し、必要な人材ニーズの収集
- H29活動実績
 - 独立自営就農：市町村向けの産地提案書の説明会（3回）、各産地との個別相談
 - 雇用就農：「コウチ・アグリマネジメント・クラブ会員」（農業法人等32団体で構成）向けへの「農の雇用事業」の説明（6月）や、「農の雇用事業」を活用している農業法人等（約60法人・個人）の個別訪問（～9月までに全法人への個別訪問実施）

⇒ **産地提案書（8/1：31市町村53提案108人募集）**



HWインターネットサービス

福祉

- 県福祉人材センター
【掘り起こし団体】
- 福祉人材センター
 - 安芸福祉人材バンク
 - 幡多福祉人材バンク

求人情報
（約5,200件）
※医療、看護、薬剤師、土木、一次産業等含む

求人情報 ※8月末
（921件1,884人）



県内最大級の求人サイト

就業DB（高知求人ネットの機能拡張）

地域おこし協力隊
（9月時点：21市町村
約41名募集中）

公的求人
（公務員、観光協会、道の駅等）

地域求人
（地域AP、市町村が掘り起こした求人）



市町村、公的団体、地域本部等

市町村の職業紹介窓口
（6市町村）

水産



- 掘り起こし団体
 - 県漁業協同組合、漁業指導所（4ヶ所）等
- どのように掘り起こすのか
 - 漁業協同組合、大敷組合、民間企業などを訪問し、必要な人材ニーズの収集（随時）
- H29活動実績
 - 漁業就業支援アドバイザーによる漁業協同組合、大敷組合、民間企業などへのヒアリング（8月末：16団体）
 - 漁業指導所による漁業協同組合、大敷組合、民間企業などへのヒアリング（6～7月に実施、50団体/33件79人の人材ニーズを把握）

⇒ **漁村のライフスタイル提案（8月末：8提案）**
⇒ **漁業就業支援アドバイザーで紹介できる求人数（8月末：16件32人）**

就業DBの内容を基に県移住促進・人材確保センタースタッフが多様な移住プランを提案

プランB

夫：ニッチトップ企業
営業職

妻：コールセンター

プランA

夫：米ナス農家 妻：介護職



企業就職であれば、どんな選択肢がありますか。

●町のUターンを考えています。今は営業で働いていますが、農業に興味があります！妻は福祉施設で働いています。

林業



- 掘り起こし団体
 - 県林業労働力確保支援センター、森づくり推進課等
- どのように掘り起こすのか
 - 認定事業体（「雇用管理の改善及び事業の合理化に関する改善計画」を作成し、知事の認定を受けた林業事業体）を個別訪問し、必要な人材ニーズの収集（年2回全法人を訪問）
- H29活動実績
 - 県林業労働力確保支援センターアドバイザーの増員（1名→2名）
 - 認定事業体を訪問し、人材ニーズの収集（7月訪問事業体数：81事業体）

⇒ **県林業労働力確保支援センターで紹介できる求人数（8月末：34件61人）**

高校生の県内就職支援対策

県内就職・県内企業を知ってもらい、関心を高めてもらう

県内企業に就職してもらう

ターゲット

高校1～2年生（保護者・教員）

高校3年生

就職希望者:1,000人
(県内就職目標:750人)

新規高卒者の県内就職率
H28:61.5%
→H31:75.0%(目標値)

(現状) 県内企業の理解促進を図る取組

主に1年生～2年生を対象

①企業見学

・進路意識の育成

主に2年生を対象

②就業体験

・インターンシップ
・企業実習
・企業技術者による技術指導

③就職に関する講習会等

・スキルアップ講習会
・キャリアサポート（講習会・研修会）

課題

- 学生一人一人がより多くの企業と接することができる機会が少ない
- 県内企業と県外企業では、労働条件や雇用環境に格差がある

取組の強化策

強化ポイント1 高校生に、より多くの県内企業の魅力等について知ってもらう

①1～2年生向け「企業と高校生との交流会」開催

・県内企業の経営者等による企業説明や製品PR
+ 学生との意見交換等

(県(商工労働部)、教委)

②「ものづくり総合技術展」参加者の拡大

・参加目標:2,000人
(H28:1,063人)

(県教委)

③若手社員による学校出前講座の実施

・県内企業の若手社員による講義
+ 学生との意見交換会

(県(ジョブカフェこうち))

強化ポイント2 県内企業に、働き方改革推進や人材育成の必要性についてより理解してもらう

④「働き方改革」セミナーの開催

高知市、安芸市、四万十市

(県(商工労働部)、高知県地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会)

⑤「人材育成」セミナーの開催

高知市、安芸市、四万十市

(県(ジョブカフェこうち))

求人者の早期提出等の要請

- 市町村への要請（管内企業・団体へ）
- 県内企業・団体への個別訪問等（5～6月）
- 経済4団体及び高知県工業会への要請

新卒予定者のための支援

- 高校生のための業界・業種理解セミナー（6月）
(県(ジョブカフェこうち))
- 高校生のための企業合同説明会（7月）
(高知労働局、県教委)
- 応募前職場見学会（8月）
(県教委)
- 就活応援「面接対策」セミナー（9月）
(県(ジョブカフェこうち))
- 高校新卒者就職面談会（11月）
(高知労働局、県教委)
- 高校卒業予定者のための「ブラッシュアップセミナー」（2月）
(県(ジョブカフェこうち、県教委))

新社会人のための支援

- 新社会人スタートダッシュセミナーの開催
- 若年者向け住宅支援の検討

主な取り組みと強化策

広報活動等により人手不足の現状を県全体で共有し、官民をあげて県内就職に向けての動きにつなげる。

（「高知で就職！応援プロジェクト」（仮）の実施）

大学生の県内就職支援対策

(県内・外大学生の県内就職に向けた取り組みの状況)

| ターゲット | 現状(H29.3) (県内就職率・人数) | H31のKPI |
|--------------|---------------------------|-----------|
| 県内大学生等 | 県内就職率を高める 35.8%・645人 | 県内就職率 42% |
| 県出身 県外大学生 | Uターン就職率を高める 16.4%・334人 | 県内就職率 30% |

大学新卒者を確保する環境の変化

■ 高知県内の雇用情勢 (出典：日本銀行高知支店特別調査(H29.6))

- ・高知県の有効求人倍率 H28年度 1.13倍。
(統計史上初めて年間通じて1倍を超え、概ね完全雇用の状態)

■ 高知県における大卒者の求人状況 (出典：高知労働局 H29.3新規学卒者の求人・求職・就職状況)

- ・新規大卒者の求人倍率 H26:8.43倍→H28:17.09倍(2.0倍)
- ・県外企業からの活発な求人活動 H28求人件数 県内 1,521件 ⇔ 県外 21,396件



大学新卒者を確保する環境が悪化しており、大学生の県内就職支援の取り組みを強化する必要がある
特にH31年卒業者(現在大学3年生)に対しては、本格的に就活を始めるH30年3月までに取り組みの強化が必要

これまでの課題に対する
対応の方向性

- 県内企業を知る機会・企業に接する機会が少ない ⇒ 県内企業が参加するセミナーの開催強化 (補正予算対応)
- 県内就職に対する意識や知識が十分でない ⇒ Uターン就職サポートガイドによる情報発信の強化 (既決予算対応)
- 雇用環境整備について県内企業の理解促進が必要 ⇒ 企業向け働き方改革推進セミナー等の開催 (既決予算対応)



○県内企業が参加するセミナーの開催強化

| 主催者 | 内容 | 開催場所/回数 | 目標参加者 |
|------|---|------------------------|----------------------------|
| 民間 | 2019年卒業者向け就活イベント(就職ガイダンス等) | 東京・大阪 /各1回 高知市 / 7回 | 県外学生 600人 県内学生 500人 |
| 県内大学 | 大学主催 業界研究セミナー等 | 県内大学 / 約7回 | 県内学生 500人 |
| 県 | 大学生のための就活準備セミナー(既決予算) | 東京・大阪/ 各1回 | 県外学生 150人 |
| 県 | 強化 県外大学生向け就活準備セミナー 内容 ・県内企業経営者からのメッセージ ・参加者(学生と企業)との交流会等 | 東京・大阪・高知市/ 計4回 | 県外学生 475人 県内学生 250人 |
| | 強化 県内大学別就職支援セミナー 内容 ・県内各大学で県内企業経営者等から直接企業の魅力を伝える | 県内3大学 各1回 | 県内学生 250人 |
| 計 | | | 県外学生 1,225人 県内学生 1,500人 |

県内企業経営者等から、
志や熱意を語り、働きがい
を求める若者の心に訴える

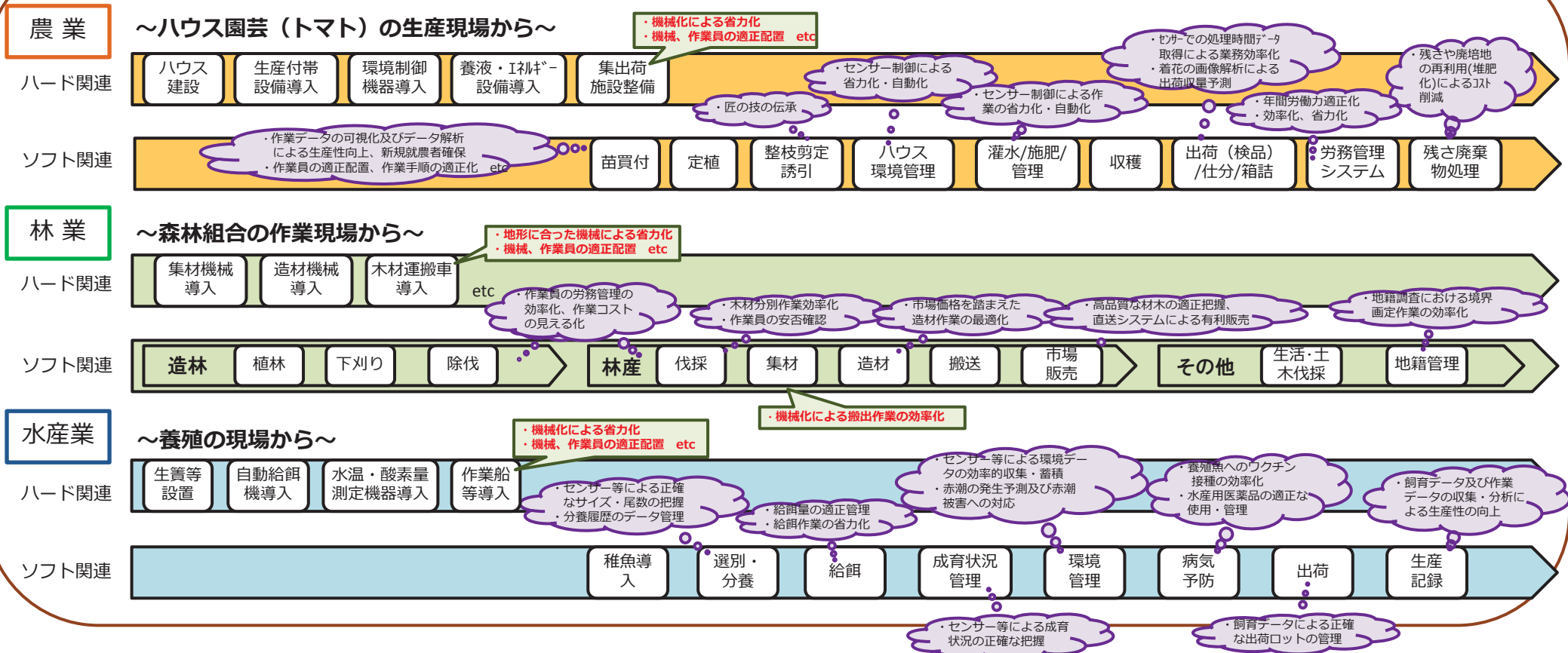
ターゲット

- 県外大学生1,000人**
(県外進学学生3年生のうち、
Uターン志向)
- 県内大学生1,500人**
(県内大学3年生のうち就職希望者)

第一次産業等の生産性向上プロジェクト=ものづくりの地産地消・外商の取り組み (①ニーズ抽出の視点)



生産性向上に向けたニーズ抽出の視点 (例)



川上から川下までの工程の中でボトルネックを見つけ、機械化・IoT化 (潜在的なニーズを顕在化)

各分野の生産性向上及び地産地消・地産外商の推進による売上増

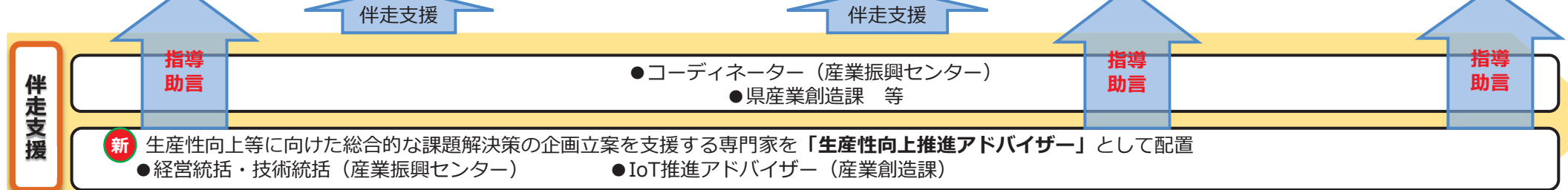
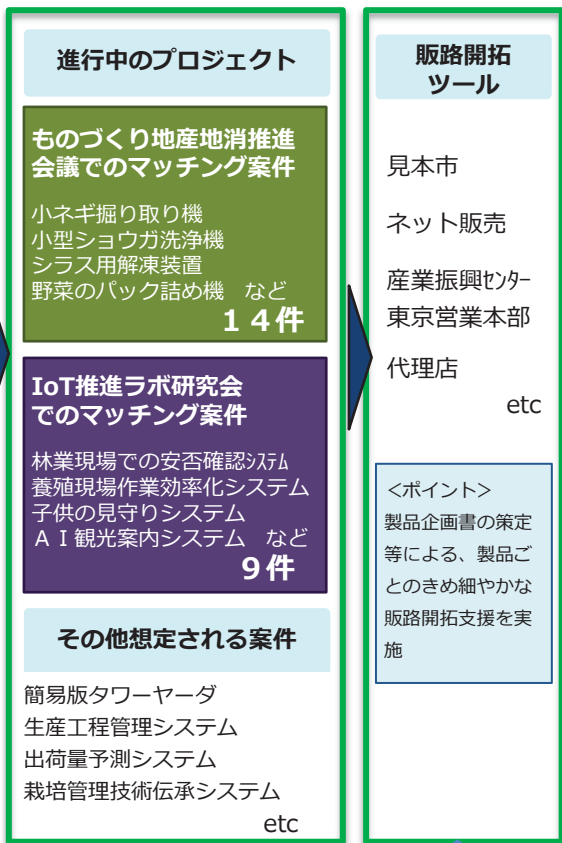
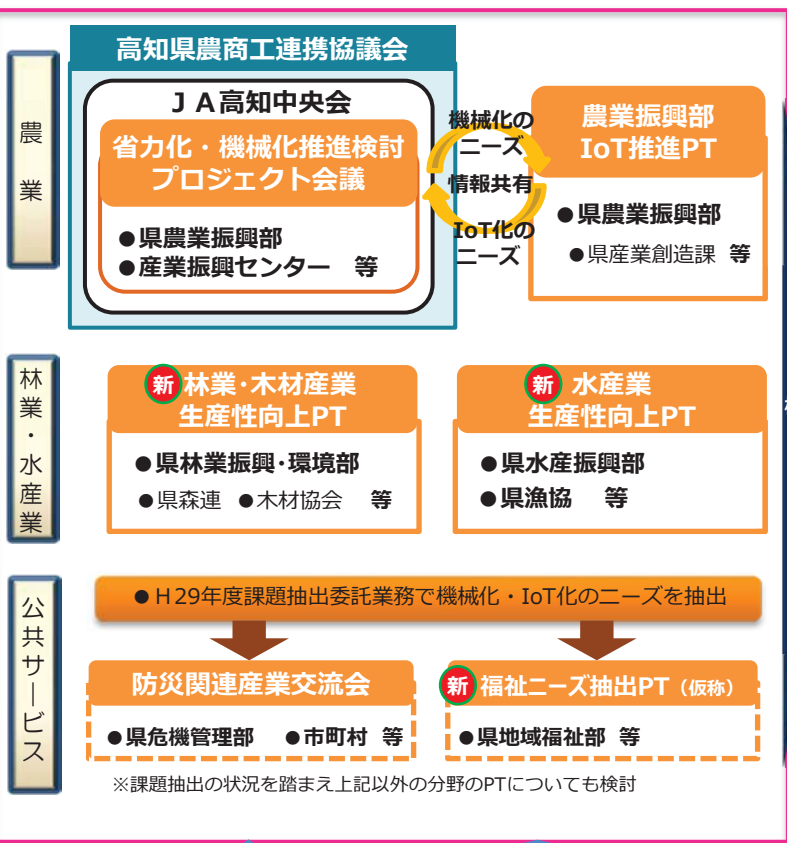
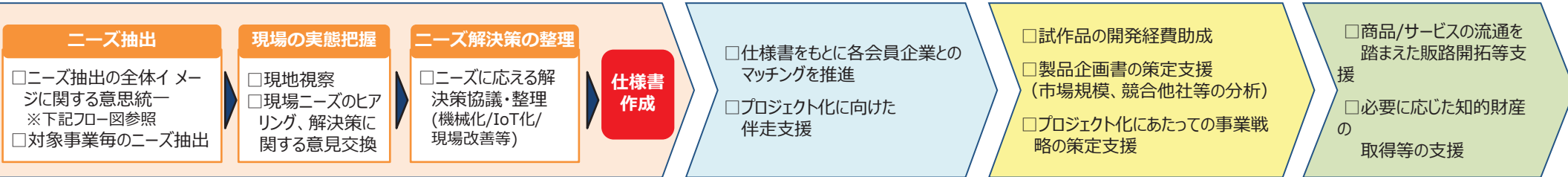
第一次産業等の生産性向上プロジェクト＝ものづくりの地産地消・外商の取り組み（②運営体制）

ニーズ抽出（生産性向上PT）

マッチングプロジェクト創出

試作開発・商品開発事業戦略策定

流通・販路開拓



各分野の生産性向上及び地産地消・地産外商の推進による売上増